



# あした 未来へつなぐ

JR北海道グループは、お客様の安全を最優先に、安心してご利用いただけるサービスを提供し、お客様満足の向上をめざします。

## 九月十九日は「保線安全の日」 今年も保線系統の職場で 各種取り組みが行われました

**J**

R北海道では、平成二十五  
十五年九月十九日に  
発生させた函館線大沼駅構  
内での貨物列車脱線事故と  
一連の事象を受けて、この出  
来事を風化させずに安全を

最優先とする企業風土を  
定着させるための取り組み  
として、全道の保線職場で  
この日を「保線安全の日」と  
定め、毎年継続して実施し  
ていきます。今年も、台風十八

安全レベルの高い  
線路にしていきたい  
い。今までの事故  
を振り返り反省  
しながら、みんな  
で力を合わせて  
進めていこう。」と  
参加者全員に呼  
びかけました。当  
日は午前中に、安



活発に意見交換がなされたグループディスカッションの様子。

えて再認識  
する取り組  
みを行いました。  
参加した  
社員からは  
「ひとつひとつの  
確認が大切だとい  
うことを再認識  
できた」『今

号の警備等によ  
り急遽日程を  
変更し、十月五  
日、十七日に変  
更して実施して  
います。

その中のひと  
つ、旭川保線所  
では十月五日に  
深川、旭川、上  
川三つの管理室  
と協力会社が合  
同で「保線安全  
の日」の主旨を  
踏まえた取り  
組みを実施。冒  
頭、須田会長は  
「今後、より一層

プに分かれてデイスカッショ  
ンするなど、安全について改  
めて考える時間を設けまし  
た。また、午後からは、実際  
の線路に向き、列車の運  
行と密接な関わりのある線  
路工事において、作業後に列  
車を安全に運行するための  
重要な確認ポイントである  
「①検測データの数値」「②  
マクラギ、レールなどの状態」  
「③列車走行時の支障物」  
を参加者全員で実践を交

日の取り組みをこれからの  
仕事に活かしたい」といった  
感想が寄せられています。  
現在、「保線安全の日」制  
定のきっかけとなった事故以  
降に入社した社員は保線系  
統だけでも約二九〇名に  
上っています。JR北海道で  
は「一連の事象を振り返り、  
再発防止への思いを風化さ  
せないこと」だけではなく、  
事故を知らない新入社員や  
経験の浅い社員にもしっか  
りとその意義を伝えること  
を目的に、これらの取り組  
みを今後も引き続き行っ  
ていきます。

**J**

線路工事のあと、その仕上がり状態をしっかりと確認します。